

■6月20日 22時45分追記

5月29日にびいかめが検証部を脱退した理由を追記。

過去に私びいかめ・のいじ氏・よ一氏が行った署名運動は、その真意を隠した不誠実なものでした。結果として私たちを信じて署名運動に賛同していただいた方々、また関係者の方々に多大な迷惑をおかけしました。また本来速やかに行うべき謝罪と経緯説明が今に至るまでなされていませんでした。誠に申し訳ございませんでした。心からお詫び申し上げます。

この署名は南条氏から得られた情報をもとに、艦これ運営の改善を求めて始められました。南条氏から得られた情報は伏せて署名を行う必要があったため、その真意を隠した不誠実な署名となりました。南条氏から得られた情報がなんであったかは、関係者に迷惑がかかるため私から申し上げることはできません。この点についても申し訳ございません。

以下、私から申し上げられる範囲で経緯説明を行います。

5月22日以前

のいじ氏・よ一氏・びいかめは互いに面識のある仲であった。のいじ氏は検証部代表であり、びいかめは検証部メンバーであった。のいじ氏とよ一氏との間には個人的なつながりはあったが、検証部としてのつながりはなかった。のいじ氏とびいかめは検証部内で、よ一氏とびいかめは個人的に、それぞれ春イベの出来について艦これ運営に対し批判的な話をしていった。

5月22日

よ一氏がびいかめに、艦これ運営を改善するためにはユーザーがもっと声を上げる必要があると話した。それに対しびいかめは南条氏から得た情報の一部を話した。それに対しよ一氏は署名による艦これ運営改善を提案した。また署名に際しのいじ氏の協力を仰ぐよう提案した。びいかめはのいじ氏を署名に誘い、のいじ氏はそれに賛同した。またびいかめはのいじ氏によ一氏も署名に参加させたいこと、よ一氏に南条氏から得た情報を話したことを告げ、のいじ氏は双方とも承認した。またのいじ氏もよ一氏に南条氏から得た情報を話した。これはびいかめが話していなかった内容も含む。よ一氏はのいじ氏に、署名協力者に必要な範囲で南条氏から得た情報を話してよいか尋ね、のいじ氏はこれに同意した。のいじ氏は他の検証部メンバーに、のいじ氏とびいかめが署名運動をすること、これは検証部とは無関係に行うことを説明し、検証部メンバーからその同意をもらった。

5月24日

のいじ氏が第一次署名を行うことを告知した。

5月27日 8時57分

第一次署名開始のめどが立ち、本日中に署名を開始することを告知した。この署名はよ一氏が内容を考え、びいかめが文章を書き、のいじ氏の文責とした。

5月27日 17時22分

検証部管理人であるのいじ氏宛に、DMMから検証部に対し事実上の活動停止を要求する勧告が届いた。

5月27日 17時27分

のいじ氏が検証部内でDMMからの勧告内容を共有した。またよ一氏とも共有した。のいじ氏はよ一氏に対し検証部存続の意向を告げた。よ一氏はのいじ氏に対し、検証部を存続させるなら署名運動による騒動に乗じてうやむやにするしかないと提案した。これは正攻法では検証部にはまったく勝ち目がなく、騒動に乗じてうやむやにすれば、わずかながら検証部に存続の可能性が残るとよ一氏が考えてのことである。この提案はもとより確実な話ではなく、可能性をわずかでも残すための提案であった。

5月27日 20時54分

第一次署名を開始した。

5月28日

南条氏がのいじ氏とびいかめを含む検証部メンバーへ、艦これ運営が改善されたという情報を話した。

5月28日 3時20分

南条氏からの情報により第一次署名の目的が達成されたと分かったため、第一次署名を停止した。その後この情報を公にする目的での署名を新たにすることを告知した。以降これを第二次署名と呼ぶ。

5月28日 12時13分

第二次署名の原案の公開と意見募集を開始した。

5月29日

びいかめが検証部に検証部脱退の意思を表明した。理由は第二次署名に専念するため、および検証部がDMMから勧告を受けたため。

5月30日

南条氏から得た情報により、第二次署名の続行を断念した。

5月31日 5時23分

第二次署名を停止し、びいかめが検証部から脱退した。

6月1日

のいじ氏がよ一氏とびいかめに、署名協力者に南条氏の情報を話すことは聞いていないと主張した(5月22日参照)。これに対しよ一氏が怒り、のいじ氏に謝罪を要求した。また謝罪に応じられない場合、南条氏の情報を第三者に話すことも辞さないとのいじ氏に告げた。これに対しのはいじ氏は謝罪を拒否した。また、のいじ氏は他の検証部メンバーのうち少なくともこしあん氏・フェイト氏・マーロウ氏・夜魔氏・南条氏に、署名の経緯を説明した。なお、上記メンバーにのいじ氏を含めた6人を以降検証部中枢メンバーと呼ぶ。検証部中枢メンバーはびいかめに対し、よ一氏を口止めすること、また南条氏の情報が第三者に漏れた場合に、南条氏が被る金銭的被害をびいかめが代わりに補てんするという誓約書を書くように要求した。これを受けてよ一氏はびいかめを通して検証部中枢メンバーに対し、よ一氏は南条氏から得た情報を第三者に話さない代わりに、びいかめに要求した誓約書の撤回を要求した。検証部中枢メンバーはこれを拒否した。

6月2日

びいかめが自身のTwitterアカウントを削除した。

以上が経緯説明になります。このような結果になり、結果皆様に迷惑おかけし大変申し訳ございませんでした。重ねてお詫び申し上げます。